

## 特別セッション要旨

### 「女性のライフコースの変化と資産管理、金融資産選択」

寿命の伸長は続いており、2017年の人口推計によると2065年の女性の平均寿命は91.3歳に達すると予測されている。

すでに90年の人生も目前であるが、特に長い人生を送る女性は、男性と異なる様々な生活上の課題を抱えている。

例えば、老後の心身上の課題としては、1) 筋力の低下や骨折など男性と異なるパターンで要介護状態になること、2) 認知症の発症リスクは年齢と調整しても女性の方が高いこと、経済問題としては、1) 平均的に公的年金額が低いこと、2) 資産運用・管理に不慣れなこと、配偶者の死亡後に多額の資産管理が必要になること、3) 家族問題としては、夫の死亡後、子どもからの介護に頼る期間が長いこと、などが挙げられる。

こうしたなか40年ぶりの民法改正、相続制度（生存配偶者、介護貢献の評価の変更）などが行われ、女性の長い老後に向けた民法・相続法制度改革も進んでいる。本特別セッションでは、主に75歳以上の女性に着目し、その資産の管理、運用、家計の管理、家族内の関係の問題を議論したい。